

同窓会報

■発行/同窓会事務局 〒935-8535 氷見市幸町17-1 氷見高等学校内 Tel 0766-74-0335 Fax 0766-72-8136

我より古を成す



同窓会副会長
新井 志津雄

創立七十周年記念式が挙げられてから、三年余が経ちました。七十周年の折、私は、募金係を命ぜられており、同窓会の皆様の「青春よ母校」の思い入れに深い感銘を味わわせて頂きました。有難うございました。

今回、会報第十号発刊に当り、記念七号に記載されていない、祝賀会で芽生えた一粒の麦のご紹介をさせて頂きます。

氷見市は、日本一の獅子舞の里と自称され、今でも市内には約百五十組ほどの組があります。タイプは百足獅子と呼ばれ、天狗・頭振りと胴幕人足四人の計六人で一組となっています。市内の古老達は「良い演舞には、厳しい鍛練と他の人思いやる心が、絶対必要な条件である。」と断言されています。(富山県教委発刊『富山県の獅子舞』参照)

話を七十周年記念祝賀会場へ運びます。

乾杯も終り、これから祝宴となつた時、突然、少しリズム外れの祭太鼓が、会場を圧して鳴り響きました。氷高の若い男女の先生方が、母校祝賀のため、密かに練習をした獅子舞を演舞されるという。来賓の中には、唐突と驚かれた方もあったようでしたが、会場全体が醸し出す好意に満ちた雰囲気「郷に入れば」と納得されたようでした。リズム外れに堪りかねて登壇された、名手金原正先輩の擗捌は流石に見事で、演舞も一

段と縮まり、女先生方の囃子も嬉しく、時を忘れました。

日ならずしてこの演舞が市民の噂となり、山の高校が「おらっちゃん高校」と親しまれ、地区に生きる学校像が少し見えてきました。

市でも、獅子舞を秀れた郷土芸能として、地域振興の行事に加えられる、NHKが全中部向けに作成した「獅子が舞う里」の放映も追風となつて、古老の言も見直されました。団員確保に苦しんでいた青年団長各位の「中・高校生の参加により、獅子舞即酒の悪弊も消えた。」との喜びの声も聞こえます。

中国の宋書の中に「我より古を成す」という言葉があります。これは、自分が先頭に立って、今までに例のない新しい境地を、自らの力で切り拓き、他の範となる、という意味と聞いています。

過去を尋ねてみましても、歴史の流れを変えるような出来事には、いつも青年の力がかわつておりました。我が国でも明治維新を推し進めたのは、時の青年たちでありました。

二十一世紀を目前にした今、世の中は大きく変わろうとしています。私達の周りでも、経済の低迷と失業問題、急激な少子化と高齢化社会の到来などなど。変転きわまりない社会情勢と言えます。まさに、若い皆様方の独創的・創造的な意欲と実践が、日本の将来の命運を握っていると言えましよう。

二十一世紀に生きる同窓生ならびに氷見高校の生徒の皆さん、「我より古を成す」の気概をもって、課題解決の主役となられますようご祈念申し上げ、拙筆いたします。

根気、元氣、覇氣のある 学校生活を願つて



校長
林 誠一

同窓会会員の皆様には、母校の教育振興と在校生の激励のために、平素から深いご理解と、暖かいご支援を賜り、心から厚く御礼申し上げます。

記録的に暑かった夏も、はや昔日となり、今では校舎周辺の楓も色とりどりに紅葉し、晩秋の空に映えております。また、グラウンドから眺めます有磯海は蒸気霧が立ち込め、海の彼方の立山連峰もすっかり雪化粧をし、初冬のたたくまを見せている今日この頃であります。

現在、普通科十七学級(自然科学コース三学級含)、商業科三学級七百九十七名の生徒が、「自学自習に励み、学力の向上をはかる」、「健康と安全を重んじ、心身の錬磨に努める」、「清らかな情操を養い、創造力を高める」等の教育方針のもと、日夜、勉学や特別活動に励んでおります。

つい先頃行われた「熊本未来国体」に男子ハンドボール部、自転車部が出場いたしました。男子ハンドボール部は準々決勝で沖縄県チームに負けはしましたが第五位に入賞、自転車部の竹沢浩司選手が、四千メートル速度競争において準優勝するなど、**氷斗**の「二〇〇〇年富山国体」での躍進を目指し、大きな希望と期待が膨らんで

います。

また、文化部各部の生徒諸君も自分達の可能性に挑戦して、たゆまない努力を続け、良い成果をあげています。

一方、三年生諸君は進路選択の終盤の時期を迎え、各自の目標に向かってたゆまない努力を続けています。必ずや努力が報われ、彼等の各々の目標が達成されることを祈念しているところであります。

ところで、本校にあつても、近年の急激な社会変化による生徒数の減少や多様化の中で、伝統ある校風の形骸化が危惧されるようになってきております。一言で言えば、良くも悪くもおとなしくなってきたことと耐性がなくなり、嫌なことは避ける傾向の生徒が増えつつあります。このようなことから、機会をとらえては「根気、元氣、覇氣」の三つの気を生徒に持たせるように努めております。また、学校行事を通して氷校生としての自覚や帰属感を高めるなど、さらに、生徒指導については、生徒の自律性を重んじ、生徒個々の特性を踏まえた指導に全教職員が心を一つにして、取り組んでいるところであります。

ともあれ、本校に着任して二年目になりますが、「根気、元氣、覇氣」のある学校生活を通して、学力の充実、節度ある生活態度の育成、環境の美化の教育努力目標と「文武両道」の実現を目指して鋭意努力していきたくと思つておりますので、今後とも、なにとぞご後援を賜りますようお願い申し上げます。

どより

関東支部会員の集い▶

- 開催月日／平成11年10月16日(土)
- 場 所／京王プラザホテル
- 出席者／来賓6名、取材1名、会員47名
- 祝 電／東京富山県連合会佐藤会長



関東支部会員の集い

母校より関教頭、松木先生、金原先生、森副会長(同窓会本部)、前田常任理事長(東京富山県人会)、丸山様(富山と東京社)をお招きし、第16回目の関東支部同窓会が開かれた。

井波会長より次期会長には「三十四年卒の石出様を推薦したい」とし、出席会員一同の拍手をもって承認された。

新体制案として、副会長に島崎・八代・二斗蒔・野村・扇内、幹事は島越・小岩・因泥、監査は上野、会計は古川の皆様方でいきたいと島越様より発表された。

島崎様からは「石出新会長のもと、関係役員と相談し、当会の輪を広げていきたい」、上野監査役からは「会計監査の結果、適正に処理されている」との報告があった。

乾杯は東京氷見会高田会長より「年々、熟年クラブのイメージとなりつつあるが、それなりに良いものがあると思っている。母校の益々の発展を祈念し乾杯」と力強いご発声を頂いた。

学校側からは「学生諸君の活動状況等の報告、指導方針、来年の国体において昭和三十三年ハンドボール部優勝にあやかれるよう夢の実現に向け頑張っている。からたちの会も情熱と高齢者パワーをもって学校側に協力している。同窓生の皆様にも更なるお力添えをお願いします。」旨のご挨拶を頂いた。

大橋幹事長ヒット策のビンゴゲームは、久保仁様と二斗蒔さんの名コンビにより、場内を盛り上げてくれた。

今年も同窓会本部より、特産の「かまぼこ」をいただき、新体制に期待し、太田副会長の閉会のご挨拶をもって無事終了した。母校に感謝!

副幹事 因泥 武彦(高十二)

母校に寄せて

宮沢 孝子(高四)

昭和二十七年三月、私達は氷見高校第四回生として卒業いたしました。

あの時から早くも四十七年の歳月が、あっという間に過ぎてしまいました。

当時の校舎は、木造二階建造りの建物で、今はあの素朴な面影も跡形もなく消え失せてしまって、鉄骨三階建のモダンな校舎が聳えるようにして建っています。

私達が通学した頃から今日まで変わっていないものは、校門、そこから正面玄関まで続く道、そして、現在の売店の後側にヒマラヤ杉が一本、ひっそりと、しかも所狭しとでもいいだけに立っているのみでしょうか。

当時、男子の上級生は、校章の入った制帽をかぶり、足駄を履き、マントを羽織って濶歩していた時代でした。

また、昼近くになるとすぐそばにある火葬場から、ただならぬ匂いが立ちのぼり、風の向きによって教室に入り込んでくるのには、とても閉口しました。

窓を解放した季節などはとてもかなわず、それでも、先生方も、生徒のみなさんも我慢をして授業を受けたのがなつかしい思い出の一つです。

この私達も、いよいよ六十五才を過ぎて高齢社会へ突入いたしました。

昨年は、恩師をお招きして同窓会を持ちました。身体の方は、年々老化していくのにもかかわらず、心は至って若く、逢えばもう五十年前の昔にかえって校歌を唱い、青春を謳歌しました。そして、これから世話役は順送りにして、ますます明るく、さわやかに生きて行こうと意気込んでいます。

しかるに我が母校氷見高校は、県下でも非常に風光明媚な、そして静寂深閑な恵まれた場所にあるのが誇りです。

この立派な校舎から、未来は大臣か、博士となる人物がぜひとも誕生していただきたいものだ、心から切に願っている次第です。



先輩たち

◀関西支部総会

- 開催月日／平成11年4月18日(日)
- 場 所／大阪・三井アーバンホテル
- 出席者／約40名

関西支部より

関西支部総会開催

母校から、三木修副校長と同窓会担当の山本明子先生に出席していただき、第十五回総会を開催いたしました。

記念講演では、元教諭の廉善先生から、定年後に大型バイクの免許を取られ、山岳ツーリングでカラコルムに登ったことなど、楽しいお話を聴かせていただきました。

懇親会では、井川浩一先輩が鮮やかな手品を披露、カラオケやお楽しみ抽選会など盛会のうちに、また来年の再会を約束し合って散会しました。

グルメの会も開催

関西支部では、会員相互の親睦を深める会として、年一回、グルメの回(おいしい料理を食べる会)を行っています。

今年は、六月二十七日に、京都府宇治市の黄檗山万福寺の境内にある銀杏庵で、十七名が参加して、伝統の普茶料理を楽しみました。

普茶料理は、すべての料理が湯葉、豆腐、山菜、季節野菜や果物で作られていて、目にも美しい不思議な料理でした。

山崎 菊雄(高二)

ゴルフでつながる

同窓の輪

(麗峰グリーン会)

氷見高校麗峰グリーン会は、氷見中学や女学校卒業者も含めた全同窓会員を対象に、ゴルフを楽しむながら世代を超えて友情と親睦を深めようという目的で行われているゴルフの集いで、毎年二回、決まった日に氷見カントリークラブにおいて開催されています。

(四月二十九日、八月十六日)今年も四月に行われたあと、八月十六日には猛暑にもかかわらず、約四十名が参加して行われ、二三亭ご主人の土居さん(中学九回)が見事優勝されました。

懇親会では、久しぶりの顔を見つけて旧交を温めるなど、和やかなひとときをすごしました。

おわりに、これまで本グリーン会の発展に尽力された姫野前会長に代わり、今年から会長に就任された細川勝行新会長による締めくくりの挨拶があり、なおいっそうの充実と発展を期して今回のゴルフ大会は閉幕しました。

協方 高士(高三)

優勝	土居 重信	O	46
2位	川上 修	I	49
3位	柳田 正次	G	95
4位	安平 好秀	H	25
5位	上野 昭喜	N	70
ベストクロス	上野 昭喜		36
			44
			39
			41
			44
			80
			91
			72
			20
			10
			15
			70
			71

平成11年度 同窓会会計予算書

平成11年4月1日～平成12年3月31日

1 一般会計

<収入の部>

科 目	予算額	前年度予算額	増 減	備 考
前年度繰越金	428,394	591,418	▲163,024	
会 費	280,000	272,000	8,000	卒業生@1,000円×280人
入 会 金	280,000	272,000	8,000	"
雑 収 入	606	1,582	▲ 976	預金利息
計	989,000	1,137,000	▲148,000	

<支出の部>

科 目	予算額	前年度予算額	増 減	備 考
会 合 費	650,000	700,000	▲ 50,000	総会、役員会、関東関西支部総会
事 務 費	80,000	110,000	▲ 30,000	郵送料、事務用品
同窓会報発行費	120,000	150,000	▲ 30,000	復刊3号印刷代
慶 弔 費	30,000	30,000	0	香典、弔電
予 備 費	109,000	147,000	▲ 38,000	
計	989,000	1,137,000	▲148,000	

平成10年度 同窓会会計決算報告書

平成10年4月1日～平成11年3月31日

1 一般会計

<収入の部>

科 目	予算額	決算額	増減額	備 考
前年度繰越金	591,418	591,418	0	
会 費	272,000	270,000	▲ 2,000	卒業生@1,000円×270人
入 会 金	272,000	270,000	▲ 2,000	"
雑 収 入	1,582	300	▲ 1,282	預金利息
計	1,137,000	1,131,718	▲ 5,282	

<支出の部>

科 目	予算額	決算額	残 額	備 考
会 合 費	700,000	561,432	138,568	総会、役員会、関東関西支部総会
事 務 費	110,000	45,460	64,540	郵送料、事務用品
同窓会報発行費	150,000	96,432	53,568	
慶 弔 費	30,000	0	30,000	
予 備 費	147,000	0	147,000	
計	1,137,000	703,324	433,676	

収入合計1,131,718-支出合計703,324=差引残高428,394(翌年度へ繰越:普通預金)

母校ニュース

新任挨拶

教頭 関 寛



十数年前、前々任校で氷見高校への異動が打診されて了解し、そのつもりでいたのですが直前新採の年の昭和四十六年、兼務講師として約十ヶ月の間勤務させていただきました。

そして今回の赴任と、私の数少ない勤務校や異動に本校が関わっています。二十八年ぶりに校舎に入りましたが、今も当時と同様、高台の校舎はすばらしい環境の中にあると感じました。週に二日の兼務講師として見ていた氷見高校と、教頭として見るそれは自ずと違いかも知れませんが、学習や部活動に元気に取り組む姿勢は同じように思います。先輩諸氏が築かれた伝統を守り、輝かしい歴史を刻むよう生徒共々、新任職員一同頑張りたいと思います。

「日本代表」になって得たもの

自転車部(三の七) 竹沢 浩司

私は日本代表になった事を顧問の先生から伝えられましたが、その時はあまり急な話だったので、正直言って信じられませんでした。しかし、後日、学校へ日本代表のジャージが届けられ、それを着た時、本当に日本代表に選ばれたんだな...と思ひ、うれしさがこみあげてきました。

出発の日、成田空港に他の選手が集まりだした時、やっと夢がかなったと思ひました。カナダでのレース初日は初の体験にわくわくする気持ちでした。しかし、スタートして六キロ、日本のレースと世界のレースのレベルの違いを思い知らされ、驚く事しかできませんでした。翌日からは距離が長かったため、上位に入る事はできませんでしたが完走する事はできました。そして、あつという間に約一週間のレースが終わったのです。

家族力

事務部長 明野 隆重

二十一世紀はそこまで来ている。五十九億を越えた世界人口のうち、十五歳から二十四歳の若者は十億五千万人と言われている。その親である団塊世代の私達は、高度経済成長期に青春時代を過ごした。その結果、価値観が多様化し、異文化に対し寛容になった。

現代では、親と子、男性と女性、先生と生徒の距離がはつきりしなくなつた。同時に人が人であるための最も重要な「家族」がその力を失いかけています。

どんなに拡大変化する社会の中にあつても、若者達の豊かな創造性と確固たる自律心の基盤は、社会の最小単位である「家族」であると思ふ。学校も一つの「家族」と見てみよう。私も本校の会員「家族」として、校風と伝統を引き継ぎ、更なる発展と飛躍に向けて頑張りたい。

この大会では多くの事を学びましたが、自分に欠けていた積極性を身につける事ができたことが一番大きいと思ひます。外国選手はとても積極性があり、自分で自分のレースを作り出して行きました。私は自分のレースを作ることではできなかったのですが、とても貴重な体験ができ、自分を成長させ、大きな自信を与えてくれたと思ひます。そのおかげで、今年のインターハイ・国体では入賞することができました。これらを糧に今後にも練習に励み、そしてまたいつか日本代表となつて、今度は自分のレースが作れる選手になりたいと思ひます。



平成11年度新任教職員

- 【教員】 関 寛 (↑大門高)
- 【国語】 前辻 恵子 (↑有磯高)
- 【国語】 林 昌美 (↑福岡高)
- 【英語】 山崎 由香 (↑大門高)
- 【商業】 室田 忠央 (↑高岡商業高)
- 【商業】 泉 卓也 (新採)
- 【美術】 鎌谷 聡子
- 【美術】 盛田 祐子
- 【美術】 奈良 吉雄
- 【商業】 濱下 知之
- 【理科】 今井 香織
- 【保健】 二上ひろ美
- 【事務部長】 明野 隆重 (↑呉羽高)
- 【主任】 浅川由美子 (↑福岡高)
- 【主任】 山崎 至 (↑上工業高)
- 【主任】 松川 和親 (退職)
- 【国語】 室田ヒロ子 (↑高岡西高)
- 【国語】 山崎 太志 (↑雄峰高)
- 【国語】 伏江 章 (↑志貴野高)
- 【数学】 豊本 克己 (↑大門高)
- 【英語】 浜本 健繁 (↑高岡西高)
- 【商業】 吉井 晋 (↑富山商業高)
- 【地歴公民】 奥田 直孝
- 【地歴公民】 加納 英輔
- 【英語】 浅林 勝行 (↑雄峰高)
- 【事務部長】 刑部 安二 (↑志貴野高)
- 【主任】 鎌仲由美子 (↑志貴野高)
- 【主任】 愛 清人 (↑伏木高)

叙勲・表彰

- 勲三等瑞宝章 横沢隼人氏(中十七)
- 勲五等瑞宝章 橋本芳雄氏(中一)
- 勲六等瑞宝章 中田正二氏(中十五)
- 県教育功労者表彰
- △学校教育功労者
- 上野美之氏(高六)
- 金原 至氏(併中一)

氷見高校写真展

氷見高校生の学校生活を写真で紹介いたします。御高覧ください。

- 平成十二年一月二日(日)～十五日(土) 場所/ハッピータウン
- 平成十二年一月二十四日(月)～二月二日(水) 場所/プラファ

平成十二年度部活動報告

運動部

- 富山県高等学校新人大会 男子ハンドボール部.....優勝
- 女子ハンドボール部.....優勝
- 国民体育大会 自転車競技(少年男子) 4km速度競争.....2位
- 竹沢 浩司(3年)

文化部

- 第16回全国商業高校 スピーチコンテスト県大会 最優秀賞.....山口ひとみ(2年)
- 第10回富山県高等学校 将棋選手権大会 A組 1位.....川口 大輔(2年)
- 富山県高文祭写真展 優秀賞.....守井さとみ(2年)
- 第8回国際高校生選抜書展 秀作賞.....九澤 亮子(3年)

事務局より

○同窓会報「第十号」をお届けいたします。今回は先輩各位からも原稿をいただき、感謝しております。これからも是非お寄せ下さい。

○同窓会名簿は平成十二年三月に発行いたします。たくさんの方の御協力をいただき、ありがとうございます。西暦二〇〇〇年に期待するとともに、会員各位の御活躍をお祈りいたします。

松木 記(高十八)

※最近、同窓会名を利用して、出版物注文等の勧誘があります。が、本校とは一切関係ございません。御注意下さい。